

続・学校配分予算の調整をしてみませんか

市事協事務局長森田さんから学校配分予算に関わる検討について、以下の提案がありました。連携事務局として、この提案について進めていきたいのでよろしくお願ひします。

続・学校配分予算の調整をしてみませんか

さて、なぜ『続』かと言いますと、まずは日刊連携会議No.111をご覧ください。郵券やクリーニング代の不足の話が掲載されています。その解決の方法の一つとして

①このような手法は、今後の学校予算にとってメリットがあるのかどうか。

ほぼ機械的に配分されていた学校予算を、学校事情に応じてメリハリを付けられるようになれば、例えば、市内でカーテンクリーニングの重点校を決めて、そこにクリーニング料を重点配分する様なことも可能になるかもしれません。そして将来的に、市の財政当局段階で、学校の要望に基づき、款項目節の比率を変えられるかもしれません。

しかし一方、現段階でこの手法をとることが、なにか問題を引き起こす可能性もあるかもしれません。そこを、みんなで検討しましょう。

②やってみようとなった場合、具体的にどう進めるか。

たぶん、進め方としては、各学校（小中別）が、増やしたい予算と減らしてもよい予算を申告して、事務局が調整し、市教委に提出、市教委でそれに沿った配分をする、という手順になるかと思ひます。市教委としては、積算基礎どおりの配分にならないとしても学校の要望に添っていることで説明がつくということでした。

と書かれています。

9月26日の定例会で、市事協事務局より「学校予算配分について」というペーパー（公開できない部分もあるので、ここでは省略します）をお示ししました。上記とほぼ同様の内容です。うまくやれば、少しは問題も解決するかもしれません。せっかくの機会ですから、『学校配分予算を見つめなおしてみませんか？』の調査を全校で行いたいと思ひます。見つめなおした結果として現状維持でも構わないと思ひます。うまくいけばちょっと使いやすくなるかもしれません。

注意点は、定例会のペーパーにも書いた通り

- ① 100%要望が叶うかどうかはわかりません。
- ② 需要費、役務費、備品購入費全ての範囲で増減が可能なことから、過去の実績や次年度の必要性など、ある程度明確な理由を示せること
- ③ 残念ながら次年度も予算増は期待できないので現状の金額を基にすること

以上3点です。そして定例会で話が出ましたが「次年度のことなので慎重に」を意識し、考えてみてはいかがでしょうか。

別紙の資料を作成し10月10日（金）までにメールか、FAXで（できるだけメールで）八幡小 森田まで返答お願ひします。

学校配分予算を見つめなおしてみませんか？の調査

学校名 _____

どちらかに○をつけてください。

- ・ 学校配分予算の変更を希望します。
- ・ 学校配分予算は現状で。（変更しません）

今年度（平成26年度）配分予算

節	細節	金額
需要費	消耗品費	0
	印刷製本費	0
	食糧費	0
	備品修繕料	0
役務費	通信運搬費	0
	手数料	0
備品購入費	庁用器具費	0
合計		0

次年度（平成27年度）希望

節	細節	金額
需要費	消耗品費	0
	印刷製本費	0
	食糧費	0
	備品修繕料	0
役務費	通信運搬費	0
	手数料	0
備品購入費	庁用器具費	0
合計		0

増額や減額の理由をお書きください。（できるだけ詳しく）現状維持もなぜ現状でいいのか教えてください。

記入例

学校配分予算を見つめなおしてみませんか？の調査

学校名 _____

どちらかに○をつけてください。

- 学校配分予算の変更を希望します。 ・ 学校配分予算は現状で。（変更しません）

今年度（平成26年度）配分予算

次年度（平成27年度）希望

節	細節	金額
需要費	消耗品費	1,219,000
	印刷製本費	57,000
	食糧費	15,000
	備品修繕料	53,000
役務費	通信運搬費	42,000
	手数料	14,000
備品購入費	庁用器具費	123,000
合計		1,523,000

節	細節	金額
需要費	消耗品費	1,219,000
	印刷製本費	37,000
	食糧費	5,000
	備品修繕料	53,000
役務費	通信運搬費	62,000
	手数料	24,000
備品購入費	庁用器具費	123,000
合計		1,523,000

増額や減額の理由をお書きください。（できるだけ詳しく）現状維持もなぜ現状でいいのか教えてください。

本校は、印刷製本費については「学校運営計画」と「研修のまとめ」のみの印刷しかないので2万円の減、食糧費も前3年の支出が5,000円程度なので削減し、PTA会費より補填している通信運搬費、カーテジニングを計画しているため手数料を増額しました。

連携事務局より補足です。

例年と異なる配分比率にすることは、ある意味学校の責任が大きくなることでもあります。できればもう少し時間をかけてコンセンサスを得た上で取り組みたいところですが、今回を逃すと次のチャンスがいつになるか分かりません。そこで、機は熟し切っていないのかもしれませんが、取り組むこととしました。

ポイントを再確認したいと思います。

- ①あくまで、増額要望が基本であること。
- ②増額が極めて困難な現状の中で、予算の効果的執行を図るための手法であること。
- ③配分比率の変更を求める学校が1～2校など少数であった場合の扱いなど、アンケート集計結果について全体で確認する場を設けること。
- ④回答のない学校には電話で意向を確認すること。

なお、市教委に再度確認をしたところ、財務システムへのデータ入力が例年だと11月上旬、その後ヒアリングと言うことで、現場の意向については可能な限り早くいただきたいとのことでした。従って、大変短期間ではありますが、10月10日（金）を締め切りとします。

このアンケートは予算要望グループに担当してもらいます。よろしくお願いします。